

第 2 次島田市総合計画後期基本計画策定に 向けた数値に見る島田市の現状及び課題

目 次

1. 島田市の人口に関する推移と将来の見通し P 1～

- | | |
|----------------------|----|
| (1) 人口予測 | P1 |
| (2) 人口の推移（自然増減・社会増減） | P2 |
| (3) 人口数値から見る市民生活への影響 | P3 |

2. 数値に見る政策展開の課題（後期基本計画で踏まえるべきもの） P 5～

(1) 福祉、介護、医療などの市民の安全・安心を確保する上での課題

- | | |
|------------------|----|
| ① 高齢者の増（介護費用の増大） | P5 |
| ② 地域医療の確保 | P5 |
| ③ 生活習慣病による死亡者数の増 | P6 |
| ④ 生活保護世帯数の増 | P6 |
| ⑤ 障害のある人の雇用状況 | P7 |
| ⑥ 保育所定員数と待機児童数 | P7 |
| ⑦ 学校の適正な規模と配置 | P8 |

(2) 地域の地力を高める上での課題

- | | |
|---------------|-----|
| ① 島田市の農業 | P9 |
| ② 島田市の製造業 | P9 |
| ③ 島田市の経済活動の状況 | P10 |
| ④ 外国籍人口の推移など | P12 |

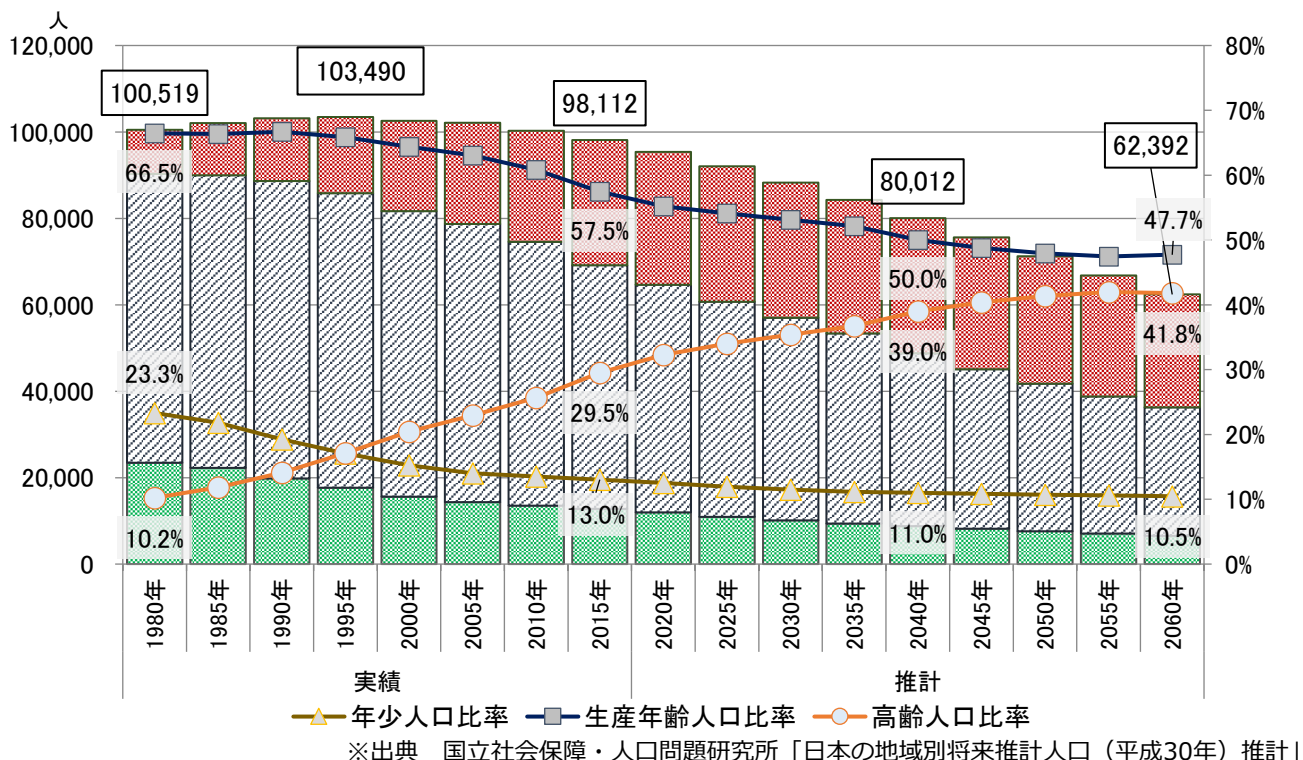
(3) 行政経営の課題

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① 市税収入額の推移と財政状況 | P14 |
| ② 島田市の目的別歳出の状況 | P15 |
| ③ 島田の起債（地方債）残高、借入額 | P15 |
| ④ 島田市・藤枝市・焼津市の財政状況（財政指標抜粋） | P16 |
| ⑤ 島田市の職員数の推移 | P16 |

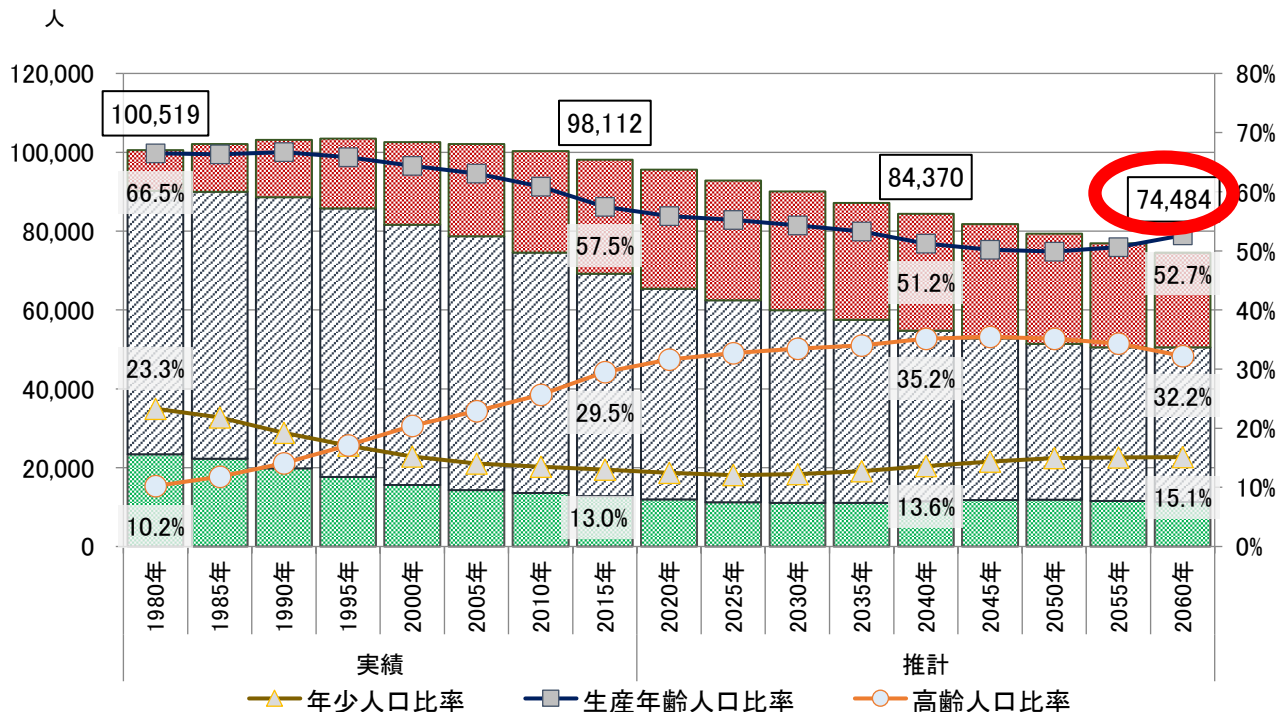
1 島田市の人口に関する推移と将来の見通し

(1) 人口予測

- 国勢調査に基づき、国立社会保障・人口問題研究所が推計した島田市の人口予測



- 島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンによる人口目標

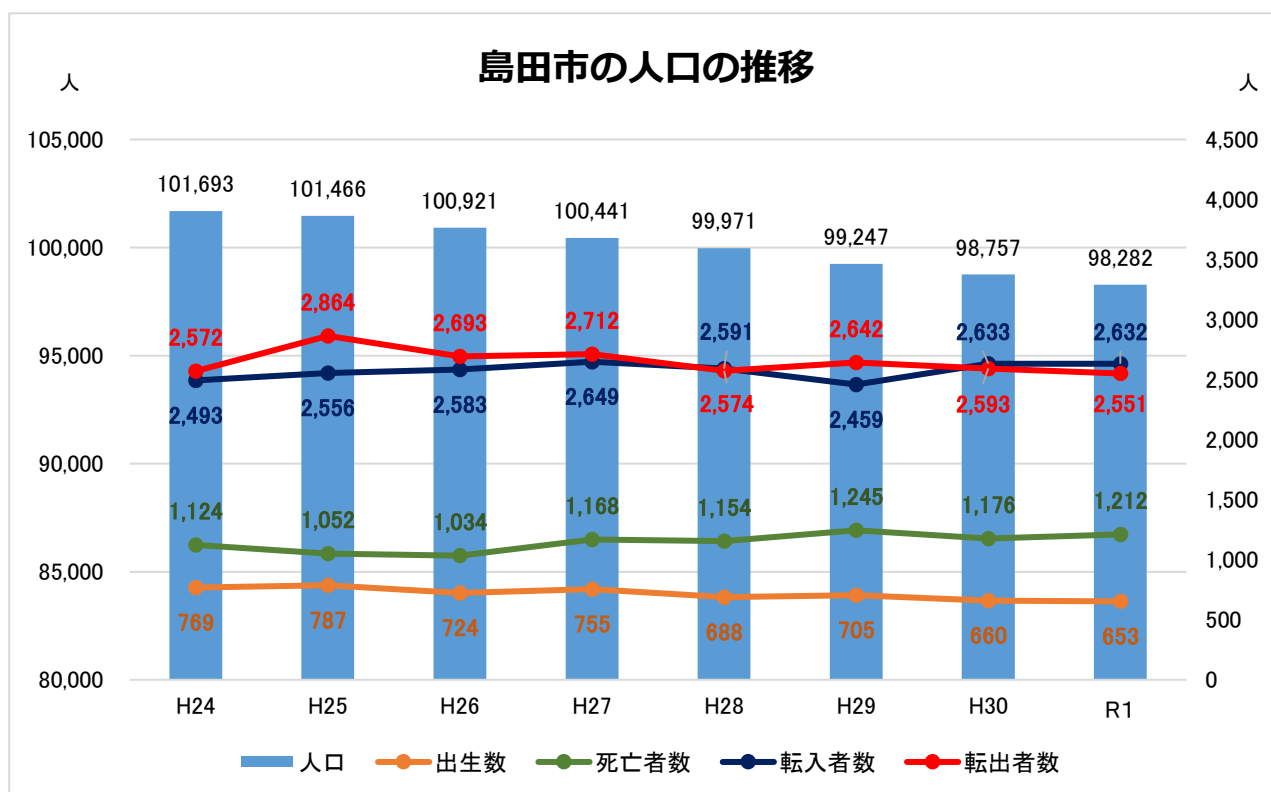


【2060年の目標人口…8万人】

若い世代の就労・出産・子育ての希望を実現し、合計特殊出生率を2040年（令和22年）に2.07、社会移動を2020年ごろに均衡させ、更なる合計特殊出生率や転入超過、長寿による人口増加をめざして、**2060年の目標人口を「8万人」とする。**

※出典 島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和元年度改訂版）

(2) 人口の推移（自然増減・社会増減）

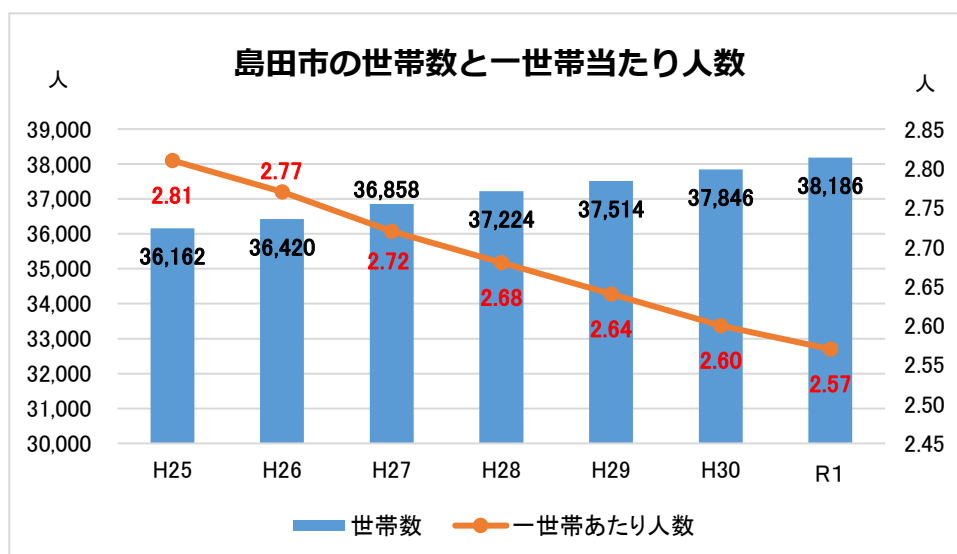


※左側の目盛り…人口（棒グラフ） 右側の目盛り…出生数等（折れ線グラフ）

※出典 住民基本台帳（各年とも12月31日現在の数値）、市町の指標（県発行）

	人口	自然増減			社会増減			純増減
		出生	死亡	自然増減計	転入	転出	社会増減計	
H24	101,693	769	1,124	△355	2,493	2,572	△79	△434
H25	101,466	787	1,052	△265	2,556	2,864	△308	△573
H26	100,921	724	1,034	△310	2,583	2,693	△110	△420
H27	100,441	755	1,168	△413	2,649	2,712	△63	△476
H28	99,971	688	1,154	△466	2,591	2,574	17	△449
H29	99,247	705	1,245	△540	2,459	2,642	△183	△723
H30	98,757	660	1,176	△516	2,633	2,593	40	△476
R1	98,282	653	1,212	△559	2,632	2,551	81	△478

(3) 人口数値から見る市民生活への影響

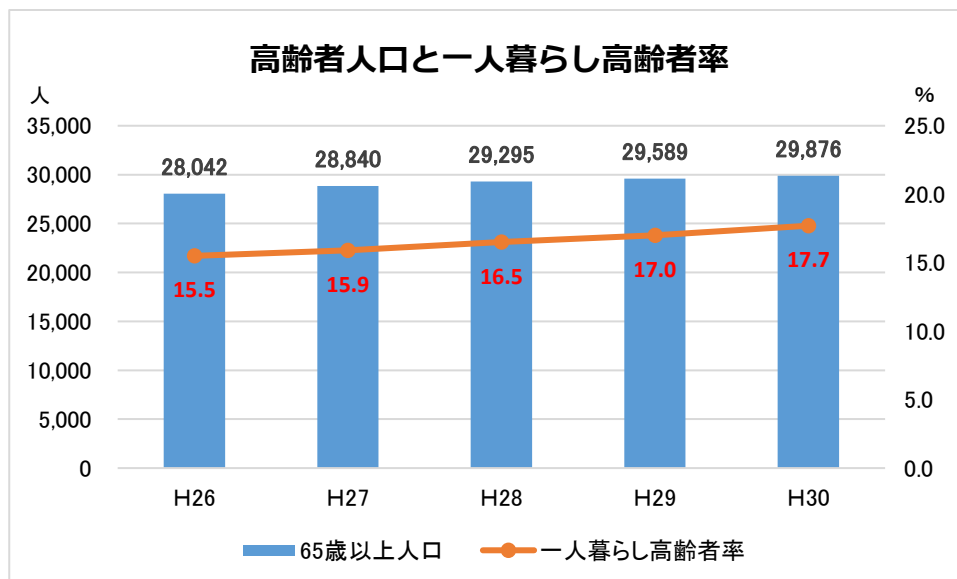


※左側の目盛り…世帯数(棒グラフ) 右側の目盛り…1世帯当たり人数(折れ線グラフ)

※出典 住民基本台帳(各年度とも12月31日現在の数値)

人口は減少しているにもかかわらず世帯数は長期にわたり年々増加しています。それに反比例して、世帯を構成する一世帯当たりの人数は年々減少し、世帯規模は小さくなっています。

要因として、晩婚化による若者のみの世帯や高齢者一人のみの世帯が増えていることなどが考えられます。



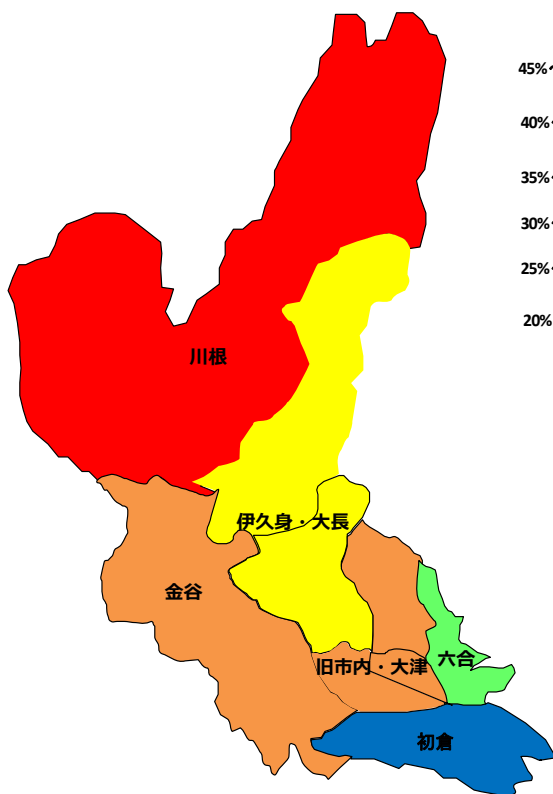
※左側の目盛り…65歳以上人口(棒グラフ) 右側の目盛り…一人暮らし高齢者率(折れ線グラフ)

※出典 市町の指標(静岡県発行)

高齢化の進展により、65歳以上の高齢者が増える中、さらに課題となることは、一人暮らしの高齢者が増えていることです。今、市内では、約6人に1人の高齢者が単身で生活しています。

医療や福祉、介護に携わる人材の育成・確保を進めるとともに、高齢者が単身でも安心して生活できる地域づくりを推進していかなければなりません。

地域の高齢化



- 45%~50% 川根 島田市内の6地域のうち、旧島田・大津、六合、初倉、金谷地域に人口の90%が集中し、残る伊久身・大長、川根地区で約10%を構成しています。
- 40%~45%
- 35%~40% 伊久身・大長
- 30%~35% 金谷
- 25%~30% 旧市内・大津
- 20%~25% 六合
- 初倉
- 高齢人口比率は川根地域で40%以上で、特に人口減少傾向の強い地域となっています。
- 全体としても、六合地域以外での人口が減少傾向にあります。

地域の人口減少や産業の衰退とともに空き家や荒廃空地、荒廃農地の増加という課題も生じています。

地域名	高齢人口	高齢人口比率	総数	構成比率
旧島田・大津	12,477	30.12%	41,420	42.25%
六合	3,949	24.82%	15,911	16.23%
伊久身・大長	1,718	36.44%	4,714	4.81%
初倉	3,848	29.73%	12,945	13.20%
金谷	6,325	34.11%	18,541	18.91%
川根	2,043	45.30%	4,510	4.60%
総数	30,360	30.97%	98,041	100%

※出典 住民基本台帳（令和2年3月31日現在の数値）

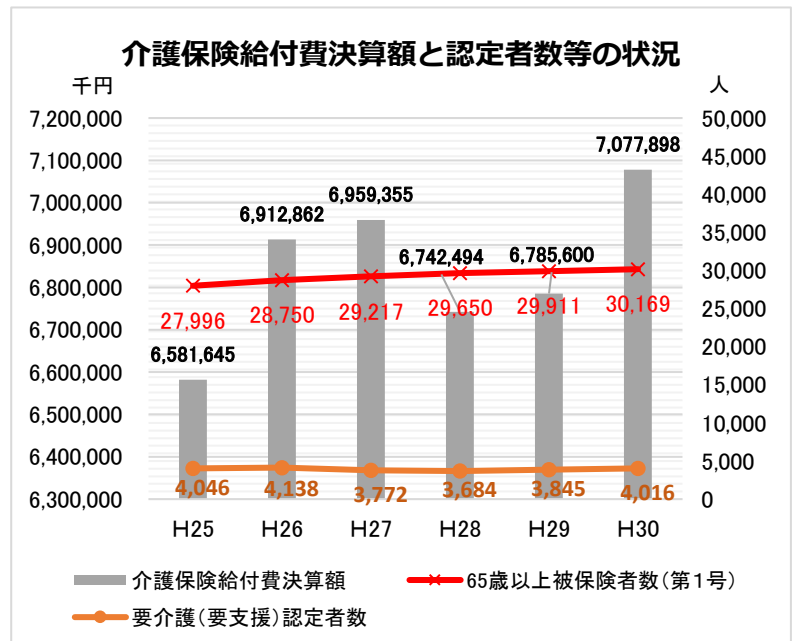
2 数値に見る政策展開の課題（後期基本計画で踏まえるべきもの）

（1）福祉、介護、医療などの市民の安全・安心を確保する上での課題

① 高齢者の増（介護費用の増大）

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題を間近に控え、人口推計からも今後、高齢者や高齢者のみの世帯が増え続け、支出に占める医療・介護の割合が一層大きくなると考えられることから、介護予防事業を拡充するとともに、高齢者の生きがいがづくりの取組を支援していくことが重要になってきます。

また、市民の健康と命を守るために必要な地域の医療を確保するとともに、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体となった地域包括ケアシステムのさらなる推進が求められています。

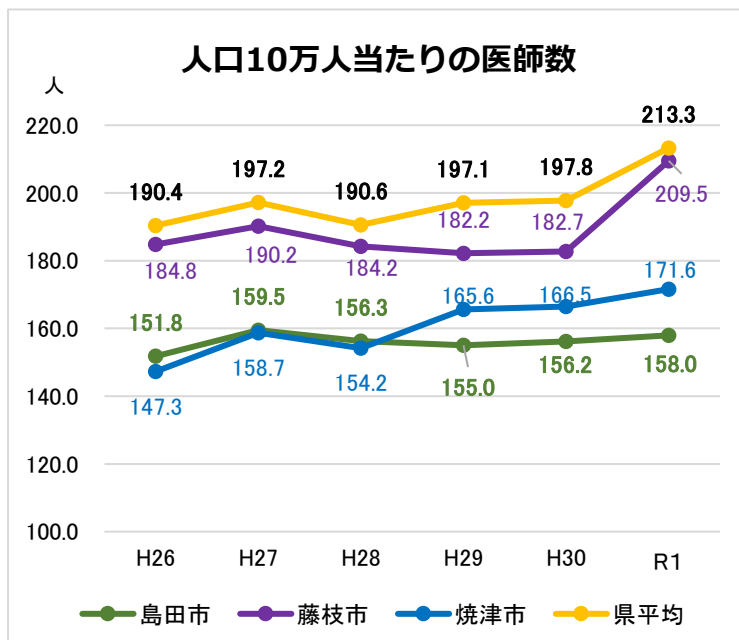


※左側の目盛り…介護保険給付費決算額(棒グラフ)

右側の目盛り…被保険者数、要介護認定者数(折れ線グラフ)

※出典 成果に関する報告書

② 地域医療の確保



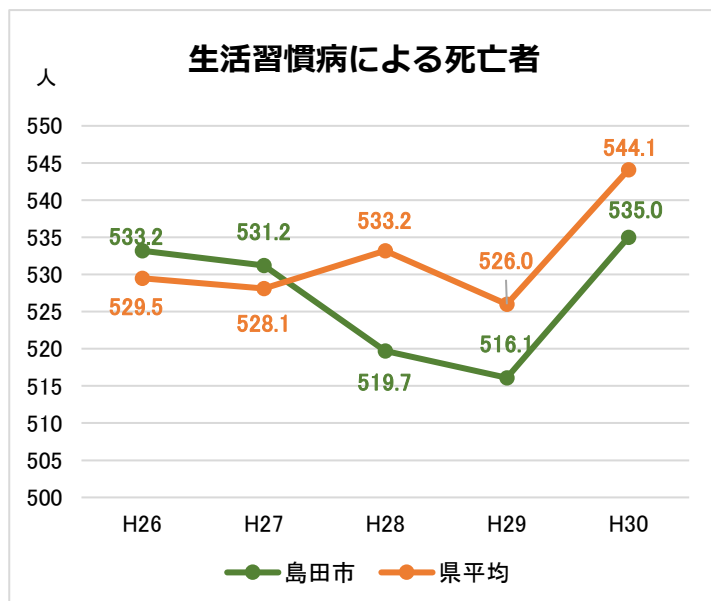
※左側の目盛り…人口10万人当たりの医師数(折れ線グラフ)

※出典 市町の指標(県発行)

島田市では、近隣市町等と比較して人口10万人当たりの医師数が少ないという結果が出ています。

新市立島田市民病院（島田市総合医療センター）を急性期医療を担う地域の基幹病院としての機能向上を図るとともに、市民の健康と命を守るため必要な地域医療の連携強化、救急医療及び災害医療体制の維持、医療と介護の連携推進など地域医療の確保に向けた取組を進めていく必要があります。

③ 生活習慣病による死亡者数の増



※左側の目盛り…人口10万人当たりの生活習慣病の死亡者数（折れ線グラフ）

※出典 市町の指標（県発行）

毎年島田市でも生活習慣病（脳血管疾患、悪性新生物、心疾患）が原因で、多くの方が亡くなっています。

島田市健康増進計画及び食育推進計画に基づき、食育の推進、栄養・食生活の改善の取組及び生活習慣の改善を促進することで、生活習慣病の発症・重症化予防に取り組んでいます。

また、悪性新生物（がん）の早期発見、治療につなげるため、がん検診の受診を促しています。

【参考：がん検診受診者数の推移（出典：成果に関する報告書）】

単位：人

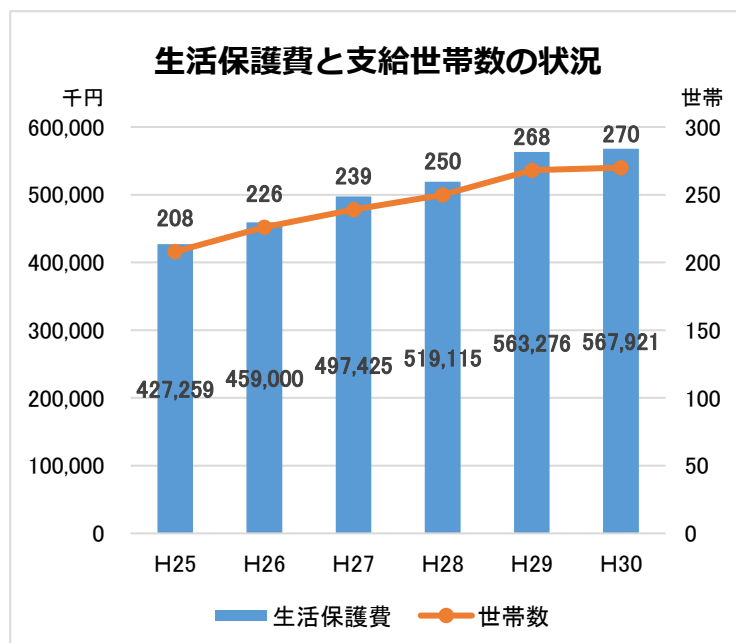
	H25	H26	H27	H28	H29	H30
乳がん検診	3,602	3,386	3,743	3,258	3,642	3,292
子宮頸がん検診	5,141	2,544	4,651	2,488	4,106	2,558
胃がん検診	4,582	4,248	4,198	4,077	3,971	3,840
肺がん検診	9,595	9,223	9,416	9,116	8,981	9,022
大腸がん検診	8,860	9,234	9,369	9,214	9,000	9,087
前立腺がん検診	2,928	3,176	2,946	2,932	2,926	2,985

④ 生活保護世帯数の増

厳しい社会情勢の影響や高齢者の一人暮らしの増加などにより、生活保護を受給する世帯は増えています。

島田市では、平成25年度と平成30年度を比較すると、生活保護費支給額、支給世帯数共に1.3倍に増加しています。

今後さらに、コロナ禍による雇用環境の悪化による失業者の増加、所得の減少など苦しい生活を強いられる市民が増えることが予想されることから、最後のセーフティーネットである生活保護受給に至る前からの支援体制の強化が求められています。



※左側の目盛り…島田市の生活保護費支給額（棒グラフ）

右側の目盛り…支給世帯数（折れ線グラフ）

※出典 成果に関する報告書

⑤ 障害のある人の雇用状況

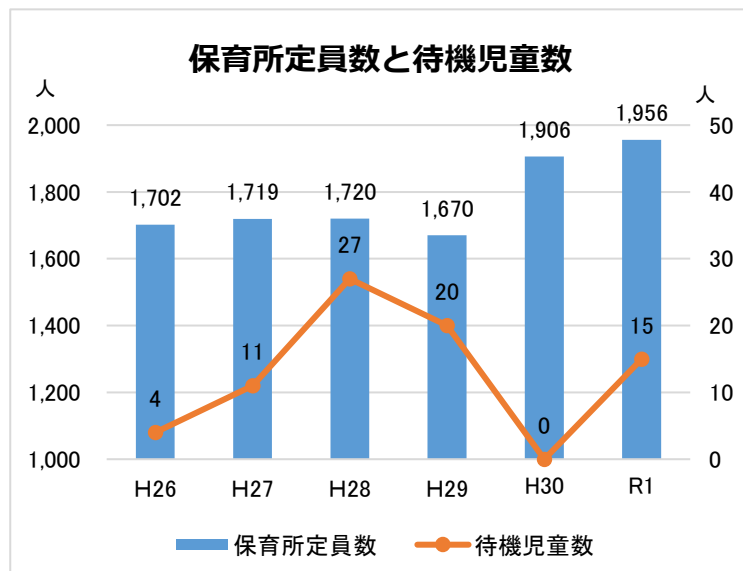
	H25	H26	H27	H28	H29	H30
身体障害者数（人）	3,228	3,236	3,179	3,186	3,119	3,076
知的障害者数（人）	739	768	804	814	848	914
精神障害者数（人）	466	484	555	502	525	560
障害者雇用率（％） （ハローワーク島田管内）	1.72	2.07	1.87	1.97	1.67	1.90
障害者雇用率（％） （県内ハローワーク合算値）	1.76	1.80	1.86	1.90	1.97	2.05

※出典 成果に関する報告書（障害者数）
ハローワークからの報告（雇用率）

島田市では、障害のある人でも能力と適正に応じた職に就き、地域で誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、就労機会を拡大する取組を支援しています。

現在、民間企業における法定雇用率は2.2%に義務付けられており、さらに令和3年4月には2.3%に引き上げられます。引き続き、障害のある人が働きやすい環境を確保できるよう働きかけていく必要があります。

⑥ 保育所定員数と待機児童数



島田市の保育所定員数は、既存保育所の定員増加や分園、小規模保育事業所の開設、幼稚園の認定こども園化などにより、人口規模が同程度の他市と比較して充足しています。

しかし、新規保育申し込み数の増加には追いついていないと言えず、待機児童の解消には至っていません。

今後も企業主導型保育所の開設や認定こども園への移行を支援することなどにより、高まる保育需要に対応していく必要があります。

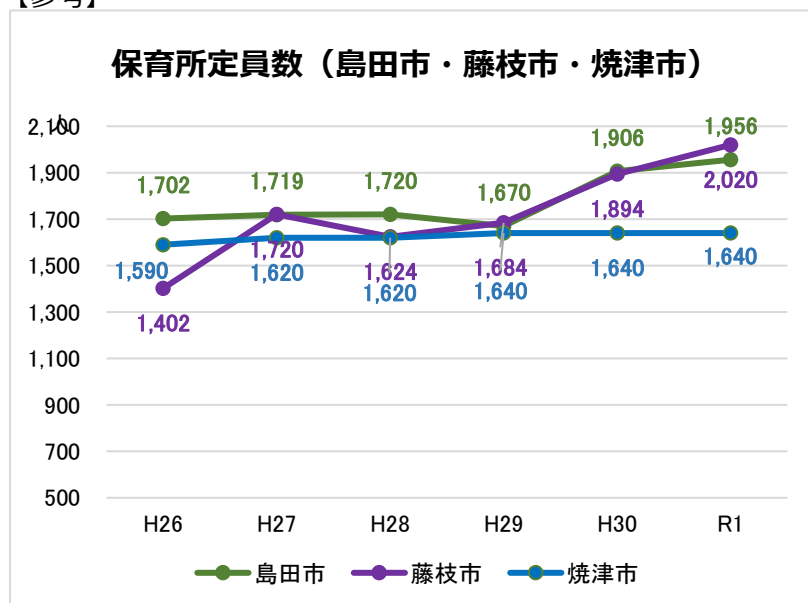
さらに、保育士不足によって定員まで受け入れができない園もでてきているため、保育士人材バンクの活用や保育士就職支援セミナー開催等により、保育士確保を進める必要があります。

※左側の目盛り…保育所定員数（棒グラフ）

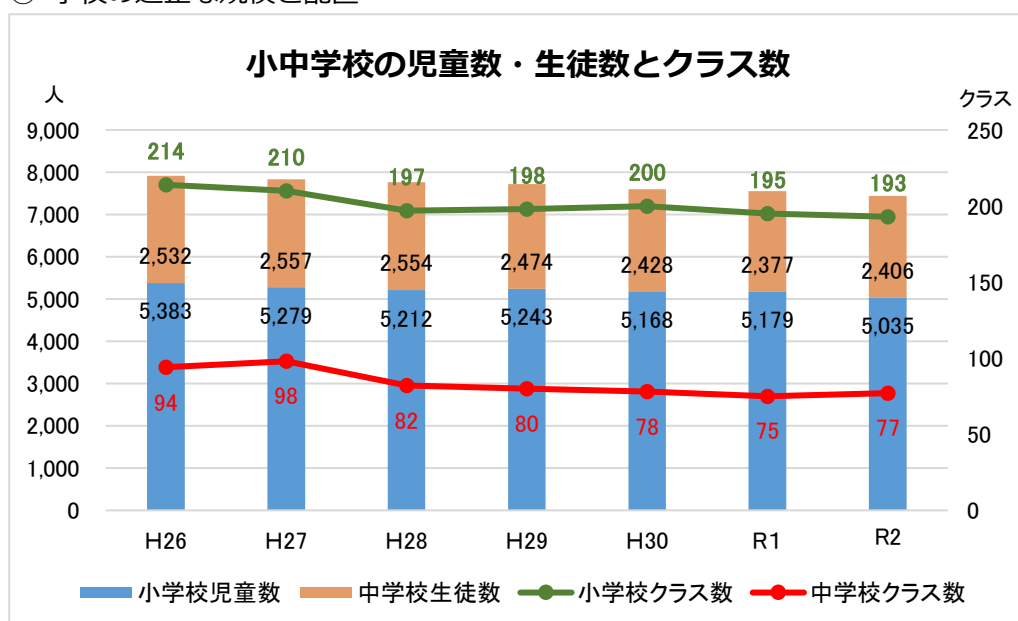
右側の目盛り…待機児童数（折れ線グラフ）

※出典 市町の指標（県発表）、成果に関する報告書

【参考】



⑦ 学校の適正な規模と配置



※左側の目盛り…児童・生徒数(棒グラフ) 右側の目盛り…小・中学校クラス数(折れ線グラフ)

※出典 児童・生徒数…市町の指標（静岡県発行） 小中学校クラス数…島田の教育

学級数にみる小中学校の規模

令和2年5月1日現在（校）

学級数	小学校	中学校	総数
1～11	8	3	11
12～18	10	4	14
総数	18	7	25

児童・生徒数については、小学校・中学校ともに年々減少しています。

学校における学級数は法令上12学級以上18学級以内が標準とされ、市内にはその基準に満たない小規模校があります。子どもたちにとって最も教育効果を高められるよう、学校の適正な規模・配置を目指します。

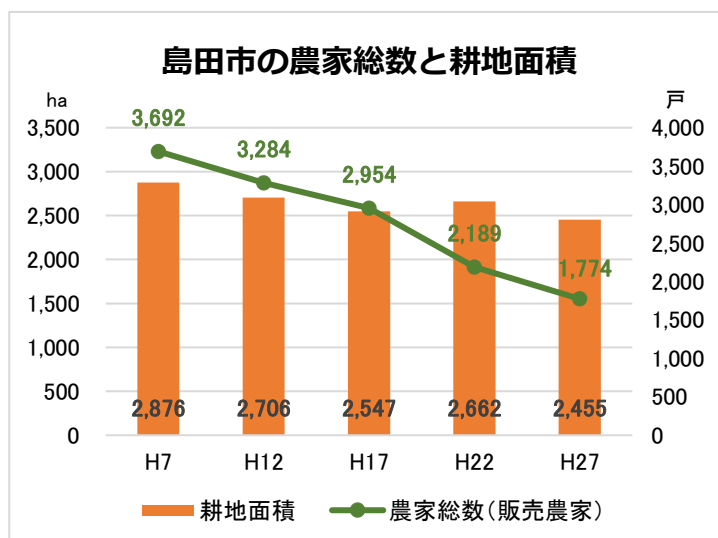
(2) 島田市の地力を高める上での課題

① 島田市の農業

島田市の農家一戸当たりの経営耕地面積は県内8位の位置を示しており、農業の比重が高い都市であると認識しています。

その一方で、平成7年と平成27年度の農林業センサスの結果を比較すると、島田市の販売農家数は、平成27年までの20年間で50%以上減少している現状が分析できます。

農業従事者の高齢化、後継者不足という構造的要因に加え、主要農産物である茶業の低迷や荒廃農地の拡大などの要因により、今後もこの傾向が進むことが予想される中で、農業を守るため新たな担い手の育成や安定的かつ継続的に経営できる環境の整備が必要となっています。

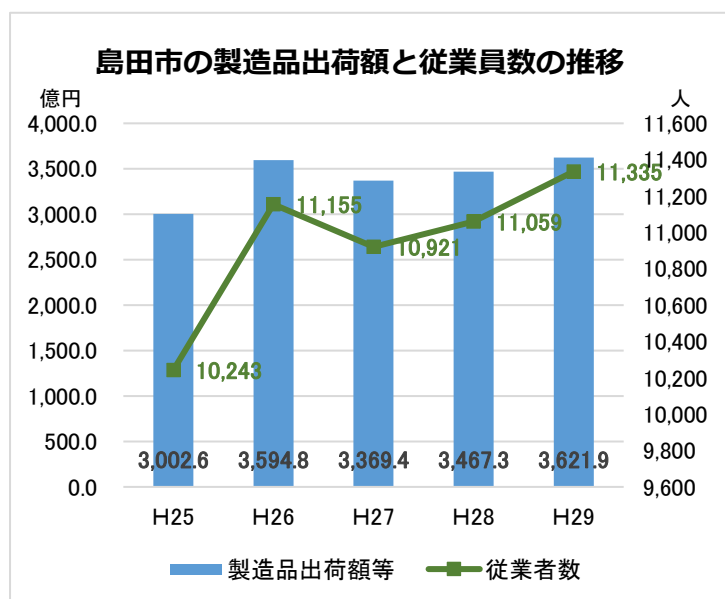


※左側の目盛り…耕地面積（棒グラフ）

右側の目盛り…農家総数（折れ線グラフ）

※出典 市町の指標（県発表）

② 島田市の製造業



※左側の目盛り…製造品出荷額（棒グラフ）

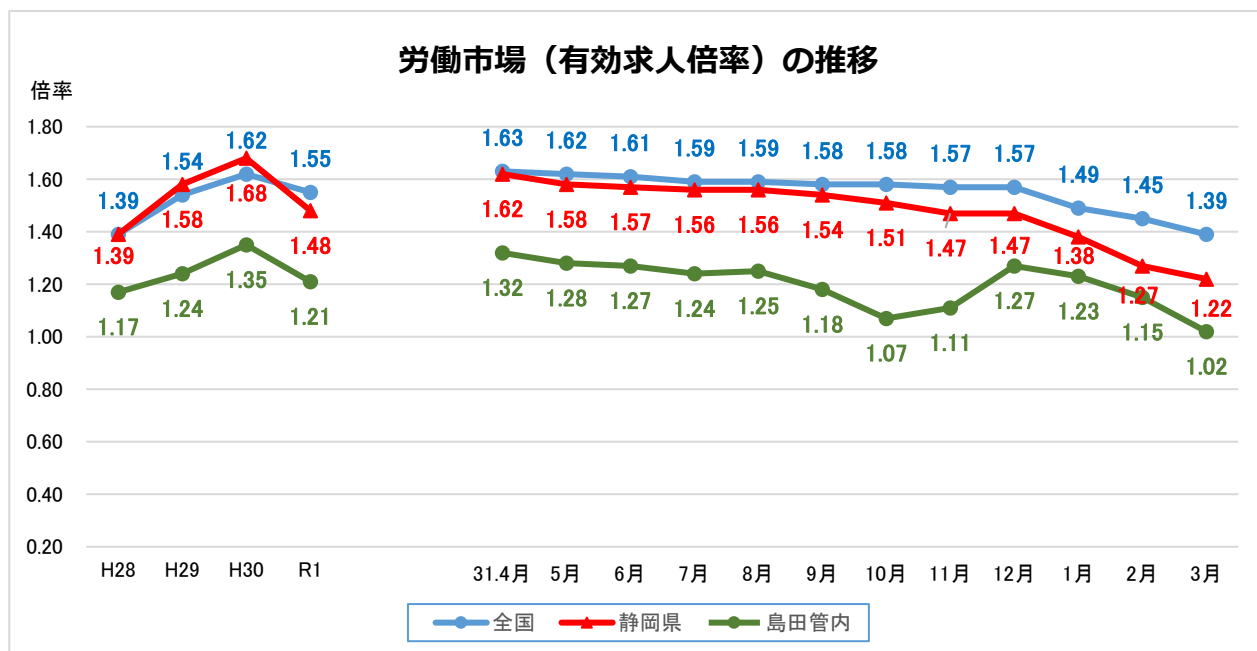
右側の目盛り…従業員数（折れ線グラフ）

※出典 工業統計調査報告書（従業員4人以上の事業所）

平成25年度と平成29年度を比較して、製造品の出荷額、従業員数はゆるやかな増加傾向にあります。平成29年の製造品出荷額と事業所数は県内市で10番目です。直近で島田市における出荷額が多い業種は、食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、生産用機械器具製造業などとなっています。

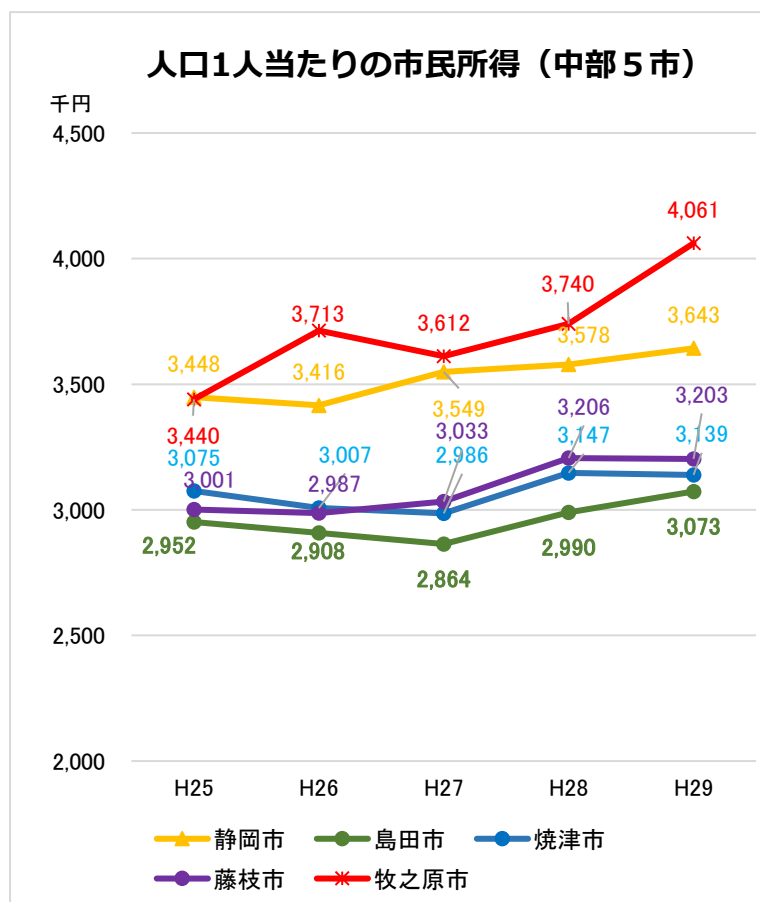
今後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で製造品出荷額、従業員数ともに下がっていくことが予想されます。特に、従業員数の減少は人口減少に直結し、島田市の活気に影響することから、地域固有の優位性をPRするとともに、堤間地区や牛尾山地区の工業用地に誘導し、地域の雇用を生み出す新たな産業の場を創出する必要があります。

【参考】



※出典 ハローワーク島田月次報告

③ 経済活動の状況



各市の産業構造（第1次、第2次、第3次産業の割合）が異なるので、一概には比較できませんが、静岡県のGDP（域内総生産額）をもとに計算した島田市の人口1人当たりの市民所得額は中部5市で最下位となっています。

高速交通結節点の優位性や地域資源及び産業の特徴を生かした施策を展開させていくとともに、産業分野へのICT導入、活用、人材育成を推進していきます。また、年代や性別を問わず誰もがいきいきと働くことができる就業の場を創出することで地域経済の発展を図ります。

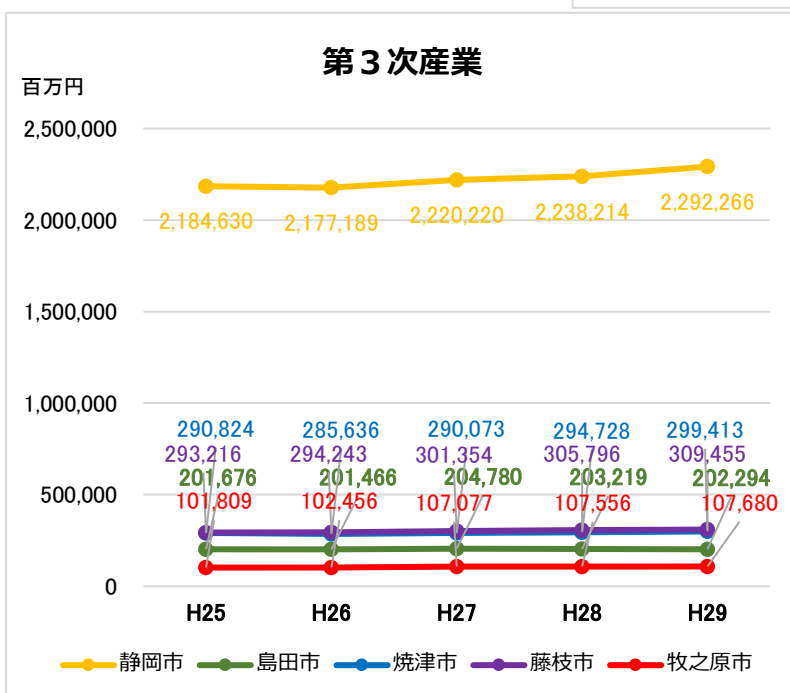
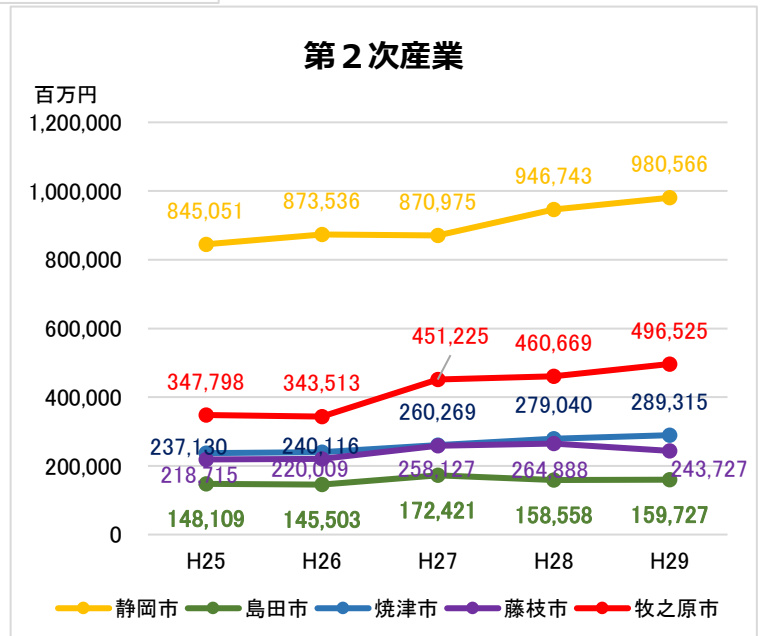
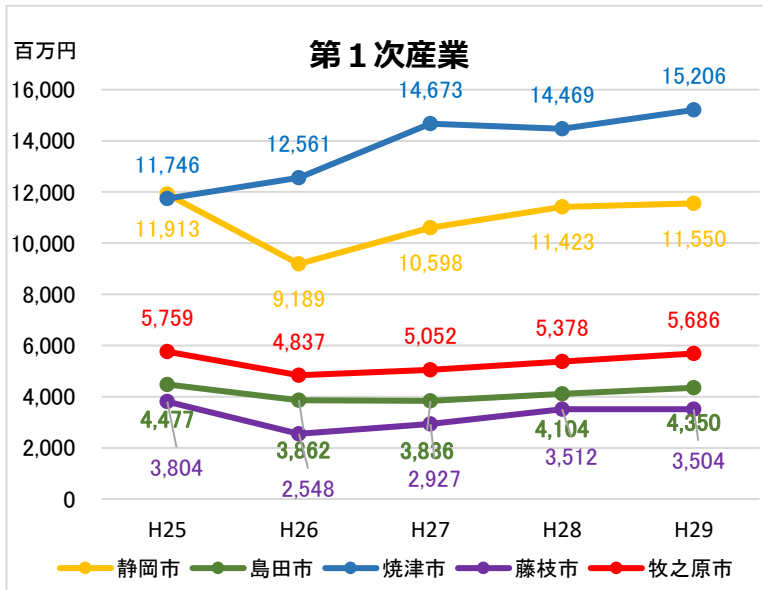
【人口1人当たりの市民所得】

「静岡県の県民経済計算」で推計した県全体のGDP（域内総生産）を家計、企業・個人事業、政府（地方自治体など）の3つの経済部門で分配、かつ、35市町に振り分け、各市町の人口で割った額である。

賃金水準や個人の所得水準を示すものではなく、地域の経済水準を捉える一つの指標としている。

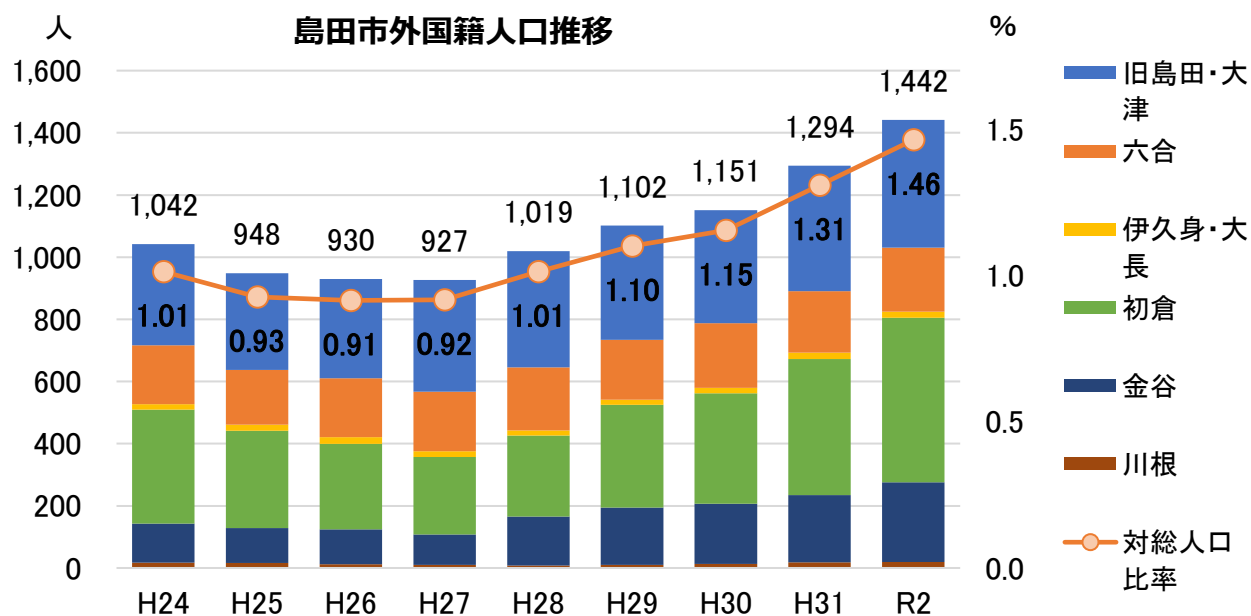
※出典 しずおかけんの地域経済計算（静岡県作成）

【参考】第1次産業～第3次産業 生産高 中部5市との比較



※出典 しずおかけんの地域経済計算
(静岡県作成)

④外国籍人口の推移など



※出典 住民基本台帳（各年とも3月31日現在の数値）

島田市地区別外国籍人口の推移

※各年3月31日（人・%）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
旧島田・大津	325	311	320	360	374	368	363	403	411
六合	190	176	189	191	202	193	208	198	206
伊久身・大長	18	20	22	19	17	16	18	18	20
初倉	366	313	275	249	260	331	355	437	529
金谷	126	112	112	98	158	184	194	217	257
川根	17	16	12	10	8	10	13	18	19
総数	1,042	948	930	927	1,019	1,102	1,151	1,291	1,442
対総人口比率	1.02	0.93	0.92	0.92	1.02	1.10	1.16	1.31	1.46

※出典 住民基本台帳

島田市外国籍住民の国籍内訳

※各年度3月31日 人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
フィリピン	234	248	250	242	264	270	287	331
ベトナム	8	11	22	96	112	183	223	273
中国	198	196	203	230	248	245	267	271
ブラジル	229	187	169	158	178	164	184	196
インドネシア	22	29	38	57	73	51	66	85
ペルー	38	44	44	47	46	49	50	54
韓国	39	44	41	38	38	42	39	39
アルゼンチン	31	27	25	22	21	20	26	25
ボリビア	37	35	30	26	19	17	24	17
その他	112	109	105	103	103	110	125	151
合計	948	930	927	1,019	1,102	1,151	1,291	1,442

※出典 住民基本台帳

島田市外国籍住民の国籍内訳

各年度 12 月 31 日時点

在留資格	H29	H30	R1	
就労が認められる在留資格	369人	444人	538人	
	32.2%	35.3%	38.2%	
うち、技能実習生	298人	355人	425人	技能実習
	26.0%	28.2%	30.1%	
うち、専門的・技術分野	71人	89人	113人	企業内転勤、医療、技能、技術、人文知識・国際業務、教育、経営・管理、高度専門職 2 号
	6.2%	7.1%	8.0%	
身分・地位に基づく在留資格	736人	759人	810人	定住者、日本人の配偶者、永住者、永住者の配偶者、特別永住者
	64.2%	60.3%	57.4%	
就労の可否は指定される活動によるもの	14人	15人	15人	特定活動
	1.2%	1.2%	1.1%	
就労が認められない在留資格	27人	40人	47人	家族滞在、留学
	2.4%	3.2%	3.3%	
計	1,146人	1,258人	1,410人	

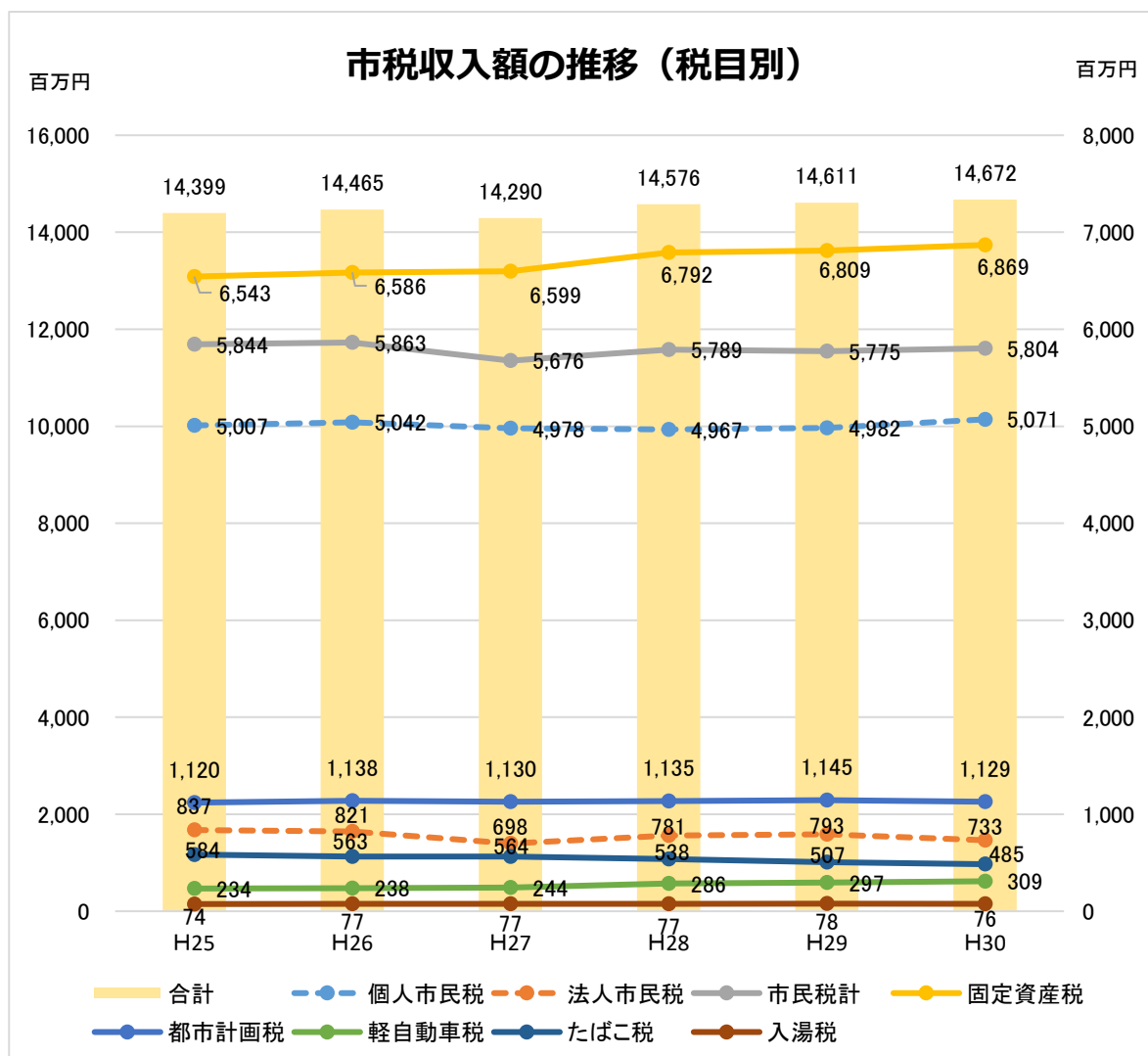
※出典 住民基本台帳

島田市内の外国籍人口は令和 2 年 3 月 31 日時点で 1,442 人でした。

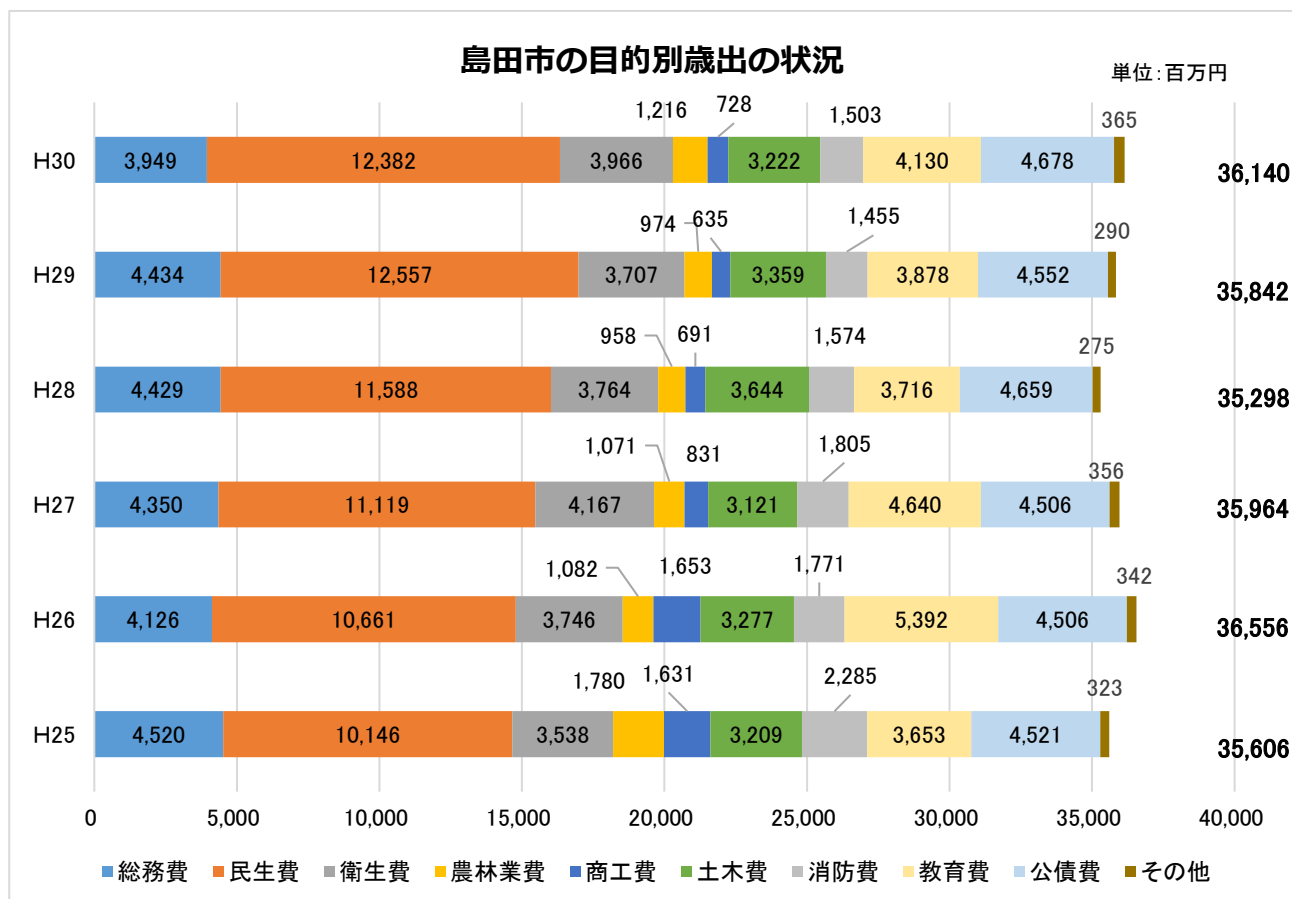
東日本大震災後の数年間は減少していましたが、平成 28 年から再び増加傾向にあります。定住や永住以外では技能実習や、技術・専門職の就職のための在留が約 4 割を占めています。国籍別にみると、多い順番に上からフィリピン、ベトナム、中国となっています。今後は、生産年齢人口減少の中にありながら、島田市の農業、福祉、製造業などの様々な分野の担い手として共に生きていくため、国籍や民族が違っていても文化的な差異を認め、対等な関係を築き、地域社会の構成員となって安全・安心に暮らすことができる多文化共生の地域づくりが必要です。

(3) 行政経営の課題

① 市税収入額の推移と財政状況

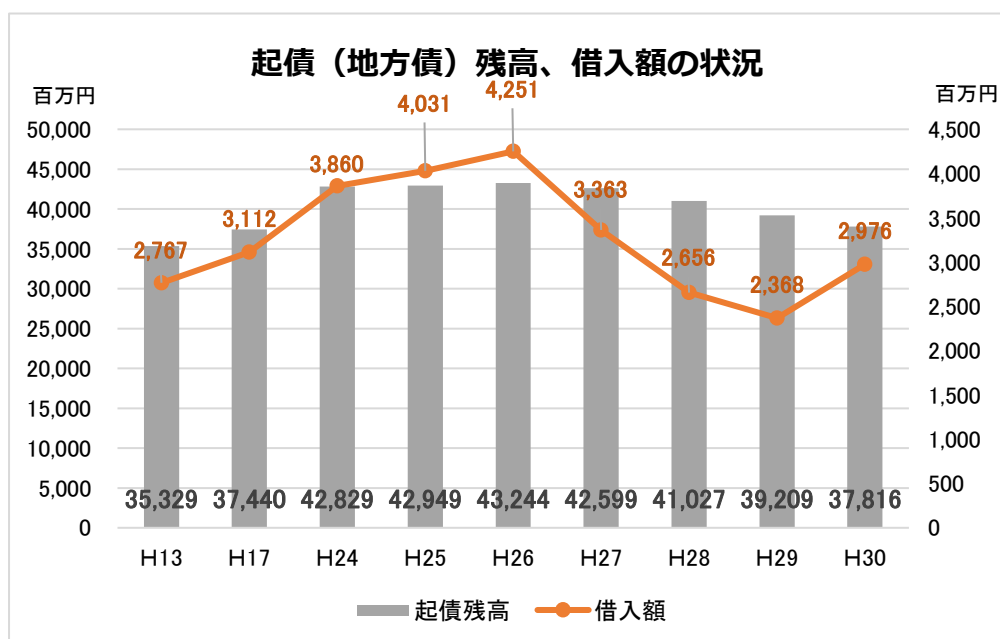


② 島田市の目的別歳出の状況



※出典 市町村決算カード（総務省）

③ 島田市の起債（地方債）残高、借入額



※出典 市町村決算カード（総務省）

※左側の目盛り 地方債現在高（棒グラフ） 右側の目盛り 借入額及び償還額（折れ線グラフ）

④ 島田市・藤枝市・焼津市の財政状況（財政指標抜粋）

● 島田市

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
財政力指数	0.75	0.76	0.76	0.76	0.75	0.75
経常収支比率（％）	90.5	91.6	88.5	89.9	90.1	91.1
実質公債費比率（％）	9.6	8.8	8.1	7.8	7.4	7.2
将来負担比率（％）	35.5	25.0	6.8	－	－	－

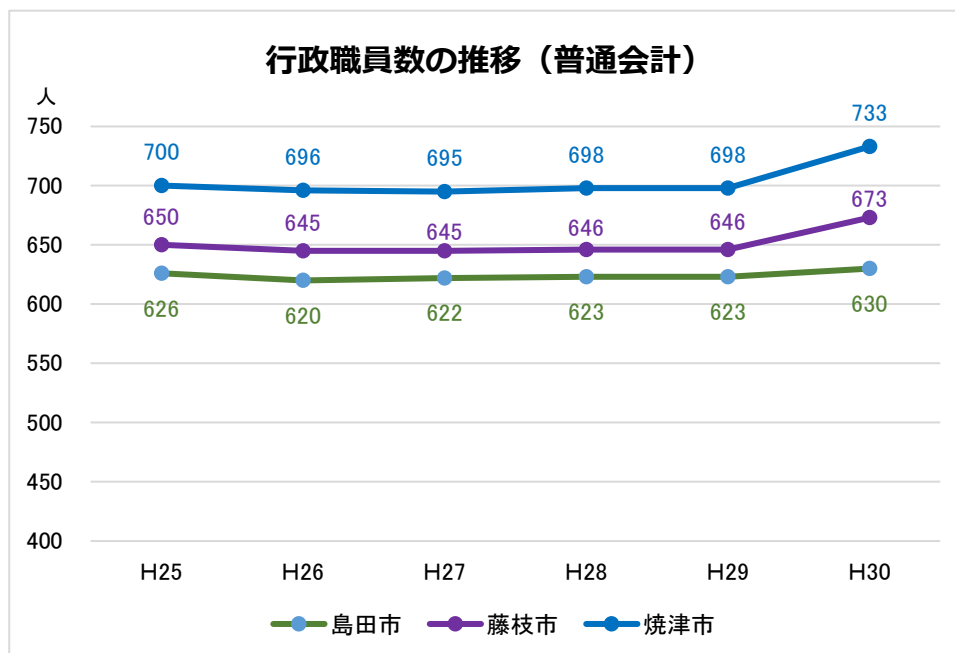
● 藤枝市

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
財政力指数	0.85	0.85	0.86	0.87	0.87	0.88
経常収支比率（％）	83.0	84.9	84.7	84.7	84.9	84.9
実質公債費比率（％）	12.3	11.8	11.1	10.7	9.8	9.3
将来負担比率（％）	53.6	45.9	32.6	11.0	2.6	－

● 焼津市

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
財政力指数	0.89	0.89	0.89	0.89	0.89	0.90
経常収支比率（％）	82.9	83.9	85.5	87.6	89.9	87.6
実質公債費比率（％）	9.3	8.4	7.8	7.1	6.9	6.7
将来負担比率（％）	47.0	40.2	21.3	2.6	1.0	2.0

⑤ 島田市の職員数の推移



※出典 市町村決算カード（総務省）